
第12回 手稻山口地域協議会

【日時】令和7年2月27日(木) 14:00～
【会場】山口処理場管理棟 会議室



次 第

- 1 開 会
- 2 今後の地域づくりについて
 - (1) 振り返りと進捗報告
 - (2) 受入地活用の方向性(案)について
 - (3) 意見交換
- 3 工事の現状と今後の見通しについて
- 4 その他
- 5 閉会

手稲山口

地域づくりに向けて

地域協議会

第12回

令和7年 2月27日（木）

14:00～

山口処理場管理棟 会議室

- (1) 振り返りと進捗報告
- (2) 受入地活用の方向性（案）について
- (3) 意見交換

(1) 振り返りと進捗報告

第11回協議会の振り返り

第11回協議会を11月19日（火）に開催しました。土地利用に関する勉強会として、農地に関係する主な法令や制度の基本を共有し、これまでの議論や企業ヒアリング結果から整理した受入地活用に向けた4つの視点について意見交換を行いました。

受入地活用の視点（事務局提案）

主な感想・意見

○良いと思ったこと ●心配なこと

A 自然に囲まれた風景を楽しみ、休憩できる
例) 植樹・植栽、芝生広場、駐車場

- 地域のシンボルとなるような植物の見所をつくることで、人が集まる
- 広い芝生広場があると子ども達が遊べる場所になる
- 風が強い場所なので、休憩できるようにするには工夫が必要
- 盛土の上では高い木は育たないため、それを考慮して緑化を進めるべき

B 家族や仲間と集い、スポーツや遊びを楽しむ
例) 遊具広場、スポーツ広場、ドッグラン、冬の遊び場

- 人が集まるような活用の視点は良い
- 家族連れで賑わう大型遊具と休憩できる場所があると良い
- サッカー場があると子ども達が遊ぶことができる
- ペットを連れてきて楽しめる場所になると良い
- 冬季に訪れる方は少ないと思うので、冬場の活用を考慮した検討が必要

C 地域の魅力にふれる
例) 農産物直売所、イベント広場、キッチンカーサイト

- 手稲山口の魅力は農産物であり、地域の農産物をまとめて販売・供給できる場所になれば、地域の活性化につながる
- 道の駅は規模が大きいため難しいとしても、多くの人がこの地域に立ち寄って農産物を買えるような場所になると良い
- 冬の運営について、集客の見込みも踏まえて検討する必要がある
- 直売所を設置するには、土地利用上の制限をクリアする必要がある

D 多くの人を訪れ、滞在できる
例) キャンピングカーサイト、キャンプ場

- キャンピングカーで宿泊できるようになるのは良い
- 海水浴場があるので、キャンプ場があると夏場は賑わいそうである
- キャンプ場とする場合、広い駐車場が必要となるため、受入地全体の使い方の中で、設置が可能なかを検討すべき
- 宿泊客を受け入れる場合は、夜間も含めてしっかりとした管理が必要

第5回地域づくり部会の概要 1月29日(水)開催

【受入地の活用の4つの視点について】

<視点A：自然に囲まれた景色を楽しみ、休憩できる>

- ・現実的な案であるが、他にも似たような場所があるため、特色を持たせる必要がある
- ・滝上の芝桜のように人が集まれば、地域の魅力となる可能性がある

<視点B：家族や仲間と集い、スポーツや遊びを楽しむ>

- ・中高生が練習や合宿で使えるようなサッカー場は、活用方法として可能性がありそう

<視点C：地域の魅力にふれる>

- ・農家が直売所を必要としているのか疑問。7月から9月は忙しく直売所まで手が回らない
- ・風雪太鼓は、夏場は出荷時期で忙しく断ることもあり、発表の場を増やすことや受入地を演奏の拠点とすることは現実的ではない

<視点D：多くの人を訪れ、滞在できる>

- ・アウトドア企業などの民間参入により、魅力的な活用ができると良い

【その他の意見】

- ・山口緑地でのマルシェイベントを開催したとしても、場所的に集客が大変そう。お試しで1回やってみるのは良いかもしれない
- ・例えば地域交通のあり方などの検討を希望

意見収集（地域アンケート）の概要

目的：受入地の活用について、地域の皆様のご意見をいただく

方法：手稲山口地区へ全戸配布、はがき・WEBにて回収(R7.1/9-1/30)

回収数：15（山口西:6, 山口東:7, 不明2）配布数：110（地区内事業所等を含む）

質問1

受入地の活用を考えるにあたり、A・B・C・Dのそれぞれの視点の重要度について、みなさまのお考えに当てはまる番号を選び、その理由を教えてください

【重要度】 ①高い ②やや高い ③どちらでもない ④やや低い ⑤低い

受入地活用の視点

A 自然に囲まれた景色を楽しみ、休憩できる

例) 植樹・植栽、芝生広場、駐車場

B 家族や仲間と集い、スポーツや遊びを楽しむ

例) 遊具広場、スポーツ広場、ドッグラン、冬の遊び場

C 地域の魅力にふれる

例) 農産物直売所、イベント広場、キッチンカーサイト

D 多くの人を訪れ、滞在できる

例) キャンピングカーサイト、キャンプ場

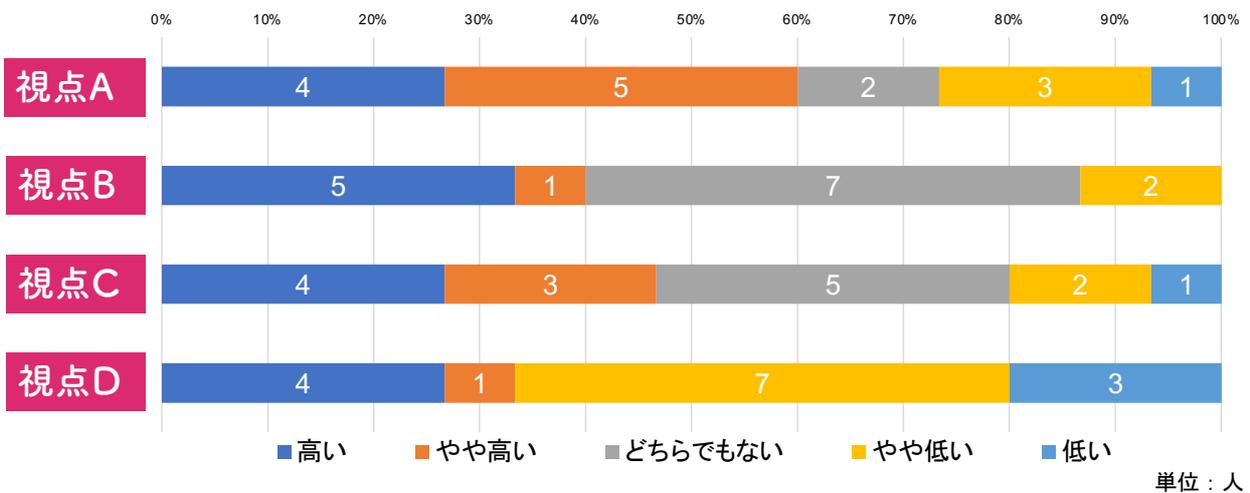


質問2

受入地がどのような場所になると良いと思いますか

例) 地域住民が集える、地域外から人が多く訪れる、静かでのんびりできる、賑わいがある、など

【質問1】 4つの視点について、重要度とその理由



視点A 「高い」「やや高い」の合計が最も多く、「休憩場所」を望む意見があった

視点B 「どちらでもない」が最も多く、冬期の利用について意見や懸念があった

視点C 「高い」「やや高い」の合計が多いが、農家の後継者不足を懸念する意見があった

視点D 「低い」「やや低い」の合計が最も多く、治安悪化を懸念する意見があった

資料1

【質問2】 受入地がどのような場所になると良いか

	意見
受入地の活用について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場が広く、ご飯を食べられる道の駅のような雰囲気のある場所（類似の意見：2） ・ 景観地として、人が訪れて気持ちのなごむ場所 ・ ペットを飼っている人も制限なく利用できる場所 ・ 歩くスキー、冬季パークゴルフ ・ 地域住民のための物になって欲しい ・ 風力発電などで地元へ還元する ・ 地域住民が集える場所等大切だが、多額の資金や維持管理費が必要になるため、山口地区の活性化のために企業を誘致する ・ 処理場の隣のため利用者イメージは良くない。住民意見と同時にマーケティングを行い負の遺産にならないようにして欲しい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手稲山口は多くのリスクを受け入れざるを得なかった現状がある。処理場等というマイナスイメージから良いイメージで地域を知ってもらうには、人々が集まり楽しめる場所、農地（休耕地）の問題、農家の高齢化の問題等々考慮していただき、土地利用のルール緩和、農業を担う移住者の受入れ等々、手稲山口を活性化し希望の持てる地域にしていきたい ・ 住宅地が自由に増加できる地域になってほしい。それで活性化した地域を形成する ・ 合理的な土地利用を見直し、アクションプログラムを示してほしい ・ 農振地域の見直し（解除）

資料1

受入地活用の方向性（案）

【内容】

手稲山口地区内の北海道新幹線建設工事に伴う発生土受入地の活用について、市が実施した民間企業を対象としたヒアリング結果をもとに、手稲山口地域協議会での意見交換や手稲山口地区の住民等を対象とするアンケートを実施し、考え方や視点を取りまとめたものです。

【構成】

- 1 本資料について
- 2 手稲山口地区について
- 3 受入地の基礎情報
- 4 検討経緯
- 5 受入地活用の視点
- 6 受入地活用の基本的な方向性
- 7 今後の取組に向けて



資料 2

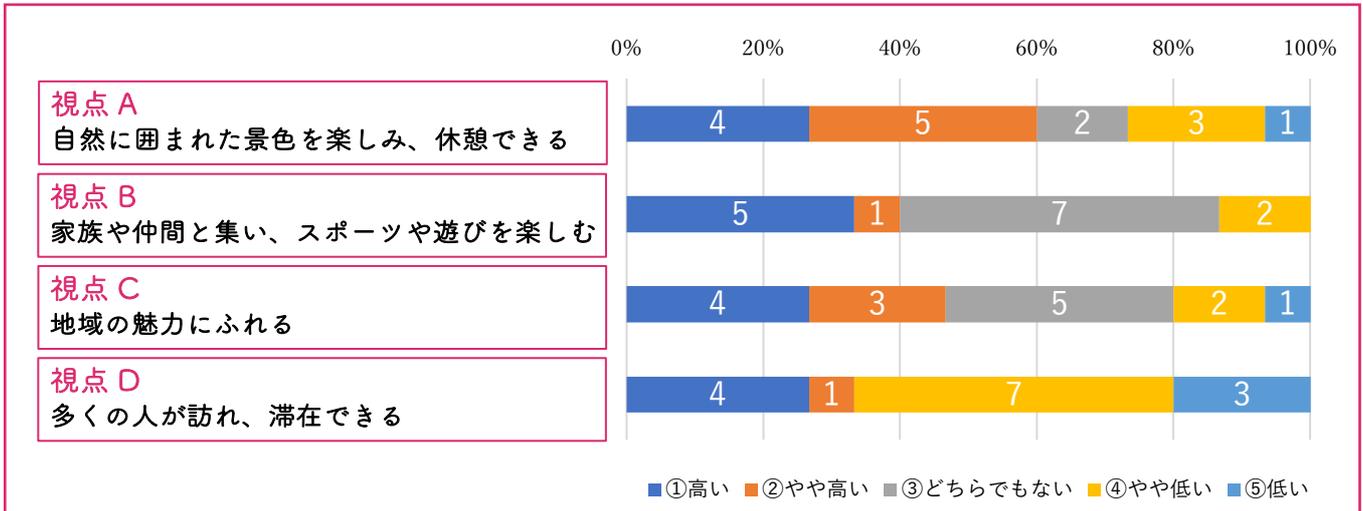
受入地の活用に向けた意見収集（地域アンケート）結果概要

目的：受入地の活用について、広く地域の皆さんのご意見をいただく

方法：手稲山口地区へ全戸配布、葉書・WEB フォームにて回収(1/9-1/30)

回収数：15（山口西:6, 山口東:7, 不明 2） 配布数：110（地区内事業所等を含む）

【質問 1】 4つの視点の重要度とその理由



視点 A		自然に囲まれた景色を楽しみ、休憩できる 例) 植樹・植栽、芝生広場、駐車場
重要度	回答数	理由
高い	4	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲にコンビニもなく、海水浴シーズンにトイレに困るため、休憩場所が必要 ・花や木は人々にあたる癒しの効果がある ・前田森林公園などの景観地があるため
やや高い	5	<ul style="list-style-type: none"> ・有効活用 ・「休憩できる」が一番。ベンチやレジャーシートを敷いて日陰で休める場所 ・のんびり出来る ・眺めは最高。風景を楽しみながらゆっくりと休息できる芝生広場があると良い ・地域外から人が訪れるのは良いが、治安が悪くなってほしくない
どちらでもない	2	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に囲まれた景色を楽しむ場所はとても良いが、それを維持管理する経費が心配
やや低い	3	<ul style="list-style-type: none"> ・高台部に駐車場を作り展望で海を見るだけでは利用者の設定が見えない ・公園的に前田森林公園のように使うのは、用途が重複する
低い	1	<ul style="list-style-type: none"> ・あちこちで木が切り倒されており、気温が札幌一高いのはそのせいではないか

視点 B		家族や仲間と集い、スポーツや遊びを楽しむ 例) 遊具広場、スポーツ広場、ドッグラン、冬の遊び場
重要度	回答数	理由
高い	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ドッグランや冬の遊び場 ・冬も家族連れでソリ遊びや雪遊びができる所を作る ・ペットも可で、管理の問題を検討すべき ・パークゴルフ場（5コース） ・ペットのイベントや大会を開催
やや高い	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が活発に遊べる場所があることは良い
どちらでもない	7	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の遊び場となる ・冬期はかまくらを作って欲しい。冬に閉鎖になるくらいならいい ・誰が、どのように資金を出して維持管理していくのか心配 ・犬は迷惑
やや低い	2	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持費用と効果が見えない。家族が何目的で来るのか、森林公園と重複する ・市街化調整区域のため、屋内施設には出来ないならば事故や怪我の対応もできない
低い	0	(回答無し)

視点 C		地域の魅力にふれる 例) 農産物直売所、イベント広場、キッチンカーサイト
重要度	回答数	理由
高い	4	・農家の後継者問題もあるが、直売所を設置し、他の施設との相乗効果をねらう ・夏場・スイカ、カボチャ、トーキビ売り ・道の駅は大歓迎。立地に適している。活性化に一番。すぐに取りかかってほしい
やや高い	3	・地域住民が一年通して集える場所（イベントや出店）であって欲しい ・道の駅のようなものがあればスイカやみやこカボチャ等がもっと発信できる
どちらでもない	5	・スイカやカボチャ等の直売所。ゆでたとうきび・実行者がいないのではないかな ・直売所はいいと思うが、山口地区に農家の後継は少なく継続は難しいのではないかな
やや低い	2	・調整区域で施設も作れず「地域」住民も少ない。農業をウリにできていない ・農業者の減っている現状を「地域の魅力」というのか
低い	1	(記載無し)

視点 D		多くの方が訪れ、滞在できる 例) キャンピングカーサイト、キャンプ場
重要度	回答数	理由
高い	4	・長い冬期間にイルミネーション等、沢山開催される場所。地域の人を作る雪祭り等 ・道の駅的な場所
やや高い	1	(記載無し)
どちらでもない	0	(回答無し)
やや低い	7	・管理の問題。火事や飲酒運転、飲酒運転、ゴミ問題等人の集まる場所にはリスクが伴う ・管理するのが大変 ・「多くの」と言うほどの広さはなく、半分以上駐車場にしなければ成立できない ・キャンプ場などは地域住民にとってデメリットしかない（騒音やゴミのポイ捨て等） ・一時的なブームに乗っても続かない。施設があっても大規模な駐車場がなければ利用ができない。収容台数等の設定が必要 ・キャンプが出来る余裕のある家庭は限られており、多くの方が来るとは思えない
低い	3	・施設管理が大変。地域住民の生活環境悪化が心配。海水浴は一時季なので無駄である

【質問 2】 受入地がどのような場所になると良いか

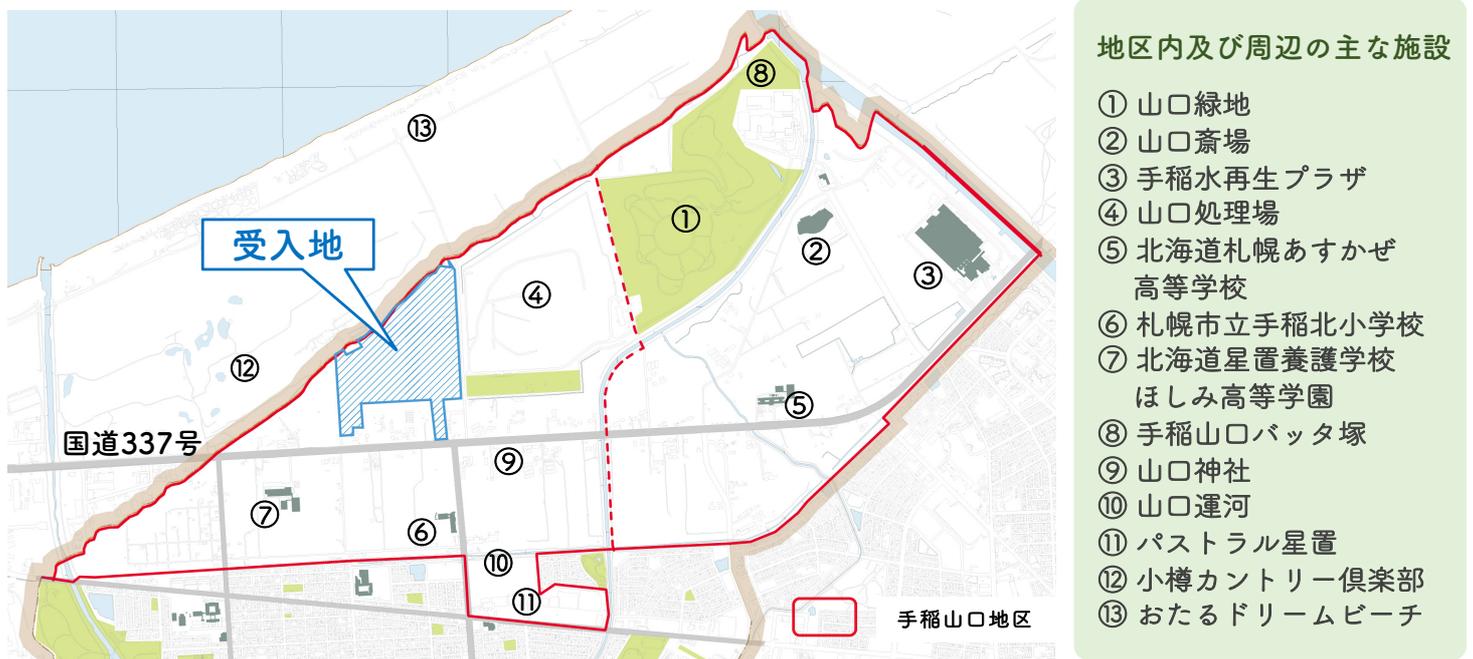
	意見
受入地の活用についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が広く、ご飯を食べられる道の駅のような雰囲気のある場所（類似の意見：2） ・景観地として、人が訪れて気持ちのなごむ場所 ・ペットを飼っている人も制限なく利用できる場所 ・歩くスキー、冬季パークゴルフ ・地域住民のための物になって欲しい ・風力発電などで地元へ還元する ・地域住民が集える場所等大切だが、多額の資金や維持管理費が必要になるため、山口地区の活性化のために企業を誘致する ・処理場の隣のため利用者イメージは良くない。住民意見と同時にマーケティングを行い負の遺産にならないようにして欲しい
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・手稲山口は多くのリスクを受け入れざるを得なかった現状がある。処理場等というマイナスイメージから良いイメージで地域を知ってもらうには、人々が集まり楽しめる場所、農地（休耕地）の問題、農家の高齢化の問題等々考慮していただき、土地利用のルール緩和、農業を担う移住者の受入れ等々、手稲山口を活性化し希望の持てる地域にしていきたい ・住宅地が自由に増加できる地域になってほしい。それで活性化した地域を形成する ・合理的な土地利用を見直し、アクションプログラムを示してほしい ・農振地域の見直し（解除）

1 本資料について

本資料は、手稲山口地区内の北海道新幹線建設工事に伴う発生土受入地（以下、「受入地」）の活用について、市が実施した民間企業を対象としたヒアリング結果をもとに、手稲山口地域協議会（以下、「協議会」）での意見交換や手稲山口地区の住民等を対象とするアンケートを実施し、考え方や視点を取りまとめたものです。

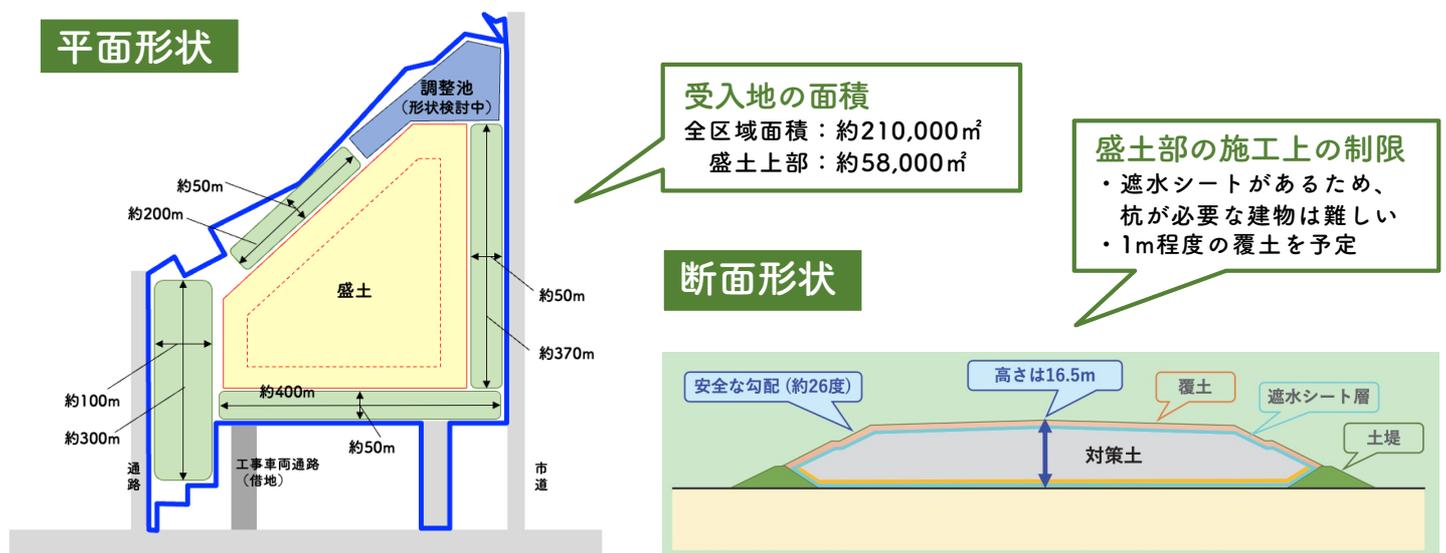
2 手稲山口地区について

手稲山口地区は農業が盛んであり、畑と緑地が多くを占めます。地区内は国道337号が東西に貫き、山口処理場をはじめとする公共施設や学校、開拓時代の歴史を感じられる史跡が残されています。



3 受入地の基礎情報

受入地は国道337号の沿道北側に位置します。平面形状は盛土部と平坦部で構成され、盛土高さは16.5mとなる予定です。



協議会では、受入地における工事の安全性の確認とともに、地域課題の共有を図り、今後の地域づくり及び受入地活用に向けた意見交換を行っています。令和6年度には、札幌市が受入地の立地や活用方法等について民間企業へヒアリングを行った結果が示されました。

(1) 協議会で共有した地域資源・課題

令和6年度末までに12回の協議会を開催し、地域づくり等について意見交換を実施した際の意見等

【地域資源】

- ・農産物特産品（大浜みやこ・サッポロスイカ）
- ・夏場に立ち並ぶ直売所の賑わい
- ・郷土芸能「風雪太鼓」
- ・豊かな自然環境・ロケーション

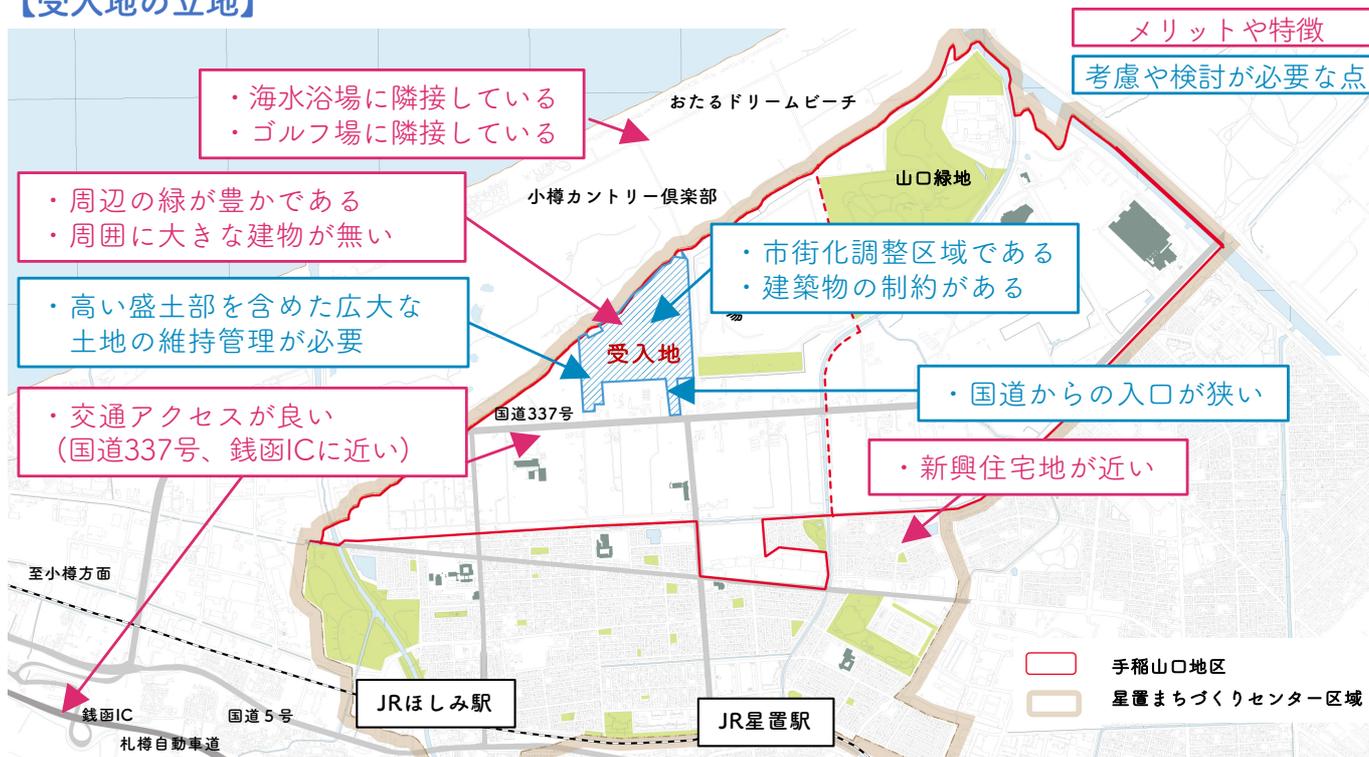
【課題】

- ・農家の高齢化・担い手不足
- ・耕作放棄地の増加
- ・処理場等、マイナスイメージの施設が多い
- ・制限がある中での土地の活用と活性化

(2) 民間企業ヒアリング結果

不動産開発・観光・スポーツ・レジャー等の事業を手がける民間企業を対象に市がヒアリングを実施

【受入地の立地】



【活用方法の例】

【検討課題等】



多様なスポーツ・レクリエーションを楽しむ場

農産物直売所
マルシェ



犬ぞりやクロスカントリー
ゴムチューブ滑りなど冬の遊び場



キッチンカー



キャンピング
カーサイト

- ・施設の管理・運営体制の検討
- ・冬期の活用の有無、及び活用方法
- ・景観の維持
- ・騒音や交通渋滞等、周辺地域への配慮
- ・夜間も含めた治安の維持

検討経緯と民間企業ヒアリングの結果を踏まえ、今後、受入地の活用を検討する際に大切にしたい視点を整理したうえで、協議会における意見交換と地域住民等へアンケートを実施しました。

(1) 各視点の活用例と課題

○期待すること ●課題

A 自然に囲まれた景色を楽しみ、休憩できる

山並みや海を望む場所で、四季折々の景色を楽しみながら、ゆったりとした時間を過ごすことができる

活用例

- 植樹・植栽
- 芝生広場
- 駐車場

意見

- 植物の見所があると人が集まる
- 受入地の環境に適応した植栽（特に盛土部分）

B 家族や仲間と集い、スポーツや遊びを楽しむ

広々とした場所で運動したり、子ども達が遊んだりして過ごすことができる

活用例

- 遊具広場
- スポーツ広場
- ドッグラン
- 冬の遊び場

意見

- 大型遊具等があると家族連れで賑わう
- 集客とニーズを考慮した冬期の活用の方向性

C 地域の魅力に触れる

手稲山口の特産品である農産物や歴史文化など、地域の魅力に触れることができる

活用例

- 農産物直売所
- イベント広場
- キッチンカーサイト

意見

- 農産物を販売、供給できれば、地域の活性化につながる
- 農産物直売所の設置・運営方法・冬期の運営の方向性

D 多くの人が訪れ、滞在できる

市内外から訪れた人々が滞在して、楽しい思い出をつくることのできる

活用例

- キャンピングカーサイト
- キャンプ場

意見

- 海水浴場が近く、夏場の賑わいが生まれる
- キャンプ場の管理運営方法
- 敷地全体の活用の中での必要性

全体に共通する意見

- 良いイメージで地域を知ってもらえるような場所にしたい
- 受入地を中心に、周辺を含めたまちづくりを進めていきたい
- 広い駐車場の確保と交通渋滞への対応が課題
- 受入地の周囲に柵を設置する等、近隣住民の安全な暮らしを守ることへの配慮が必要



(2) 部会における意見

4つの視点と活用例について、部会において意見交換を実施

○期待すること ●課題

4つの視点について、部会の意見概要

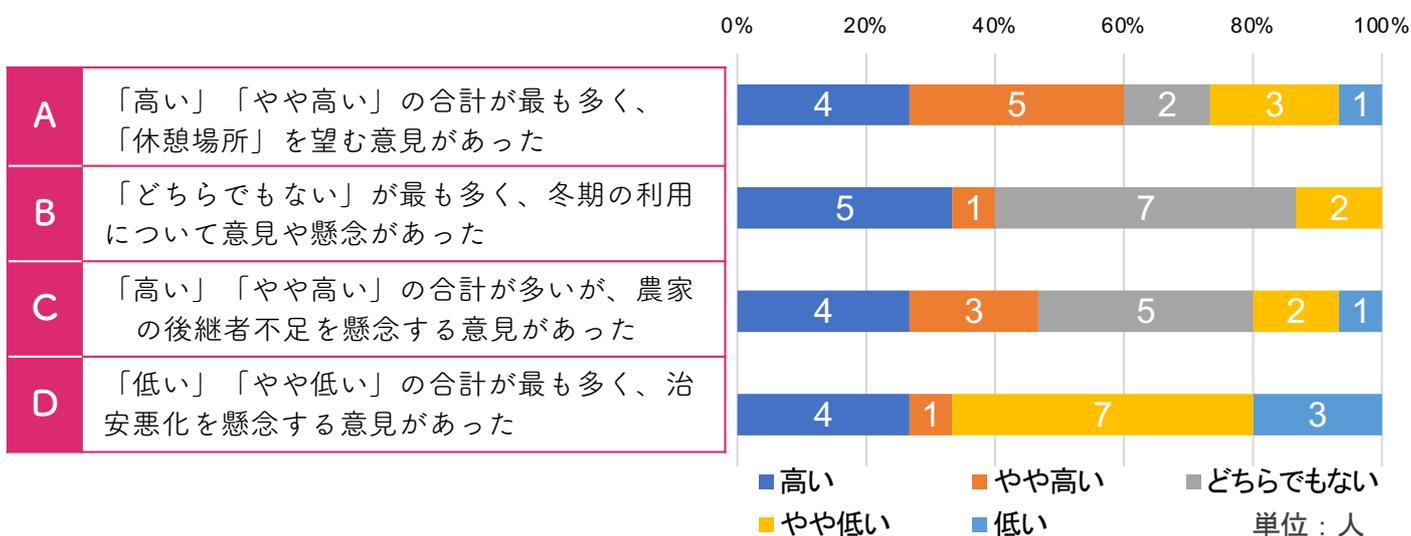
A	○植物の見どころは人が集まり地域の魅力となる ●類似する場所があるため、特色を持たせる必要がある
B	○サッカー場ができれば、中高生が練習や合宿で使えるので良い
C	●農家が直売所を必要としているか疑問。7月から9月は忙しく直売所まで手が回らない ●風雪太鼓は、夏場は出荷時期で忙しく断ることもあり、発表の場を増やすことや受入地を演奏の拠点とすることは現実的ではない
D	○アウトドア企業等の民間参入により活用をできると良い

(3) 地域アンケートの結果

方 法：手稲山口地区へ全戸配布、はがき・WEBにて回収(R7.1/9-1/30)

回収数：15（山口西:6, 山口東:7, 不明2） 配布数：110（地区内事業所等を含む）

4つの視点について、重要度とその理由



6 受入地活用の基本的な方向性

以上の検討結果をふまえ、受入地活用に向けた基本的な方向性を設定しました。以下の3つの方向性を大切に検討を進めます。

- ① 自然に囲まれた景色の中で、地域の魅力に触れることができる
- ② 訪れた人々が心地良い時間を過ごすことができる
- ③ 地域の暮らしを守りながら、新たな賑わいを創出することができる

7 今後の取組に向けて

協議会では、受入地活用の基本的な方向性を踏まえ、活用の具体化に向けた協議を進めていきます。

令和7年 月 手稲山口地域協議会

手稲山口受入地の工事進捗と今後の予定について

平素から、北海道新幹線事業にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。手稲山口受入地工事の進捗状況と今後の予定についてお知らせいたします。

○工事の進捗状況と今後の予定について

現在、発生土（対策土）の受入れを継続して行っております。

昨年（令和6年）の11月で、受入地底面での遮水シート敷設がすべて完了いたしました。

今後も引き続き、発生土（対策土）を受け入れながら、盛土法面の遮水シートの敷設等を進めてまいります。



受入地全景（北側から南西側を望む）（令和7年2月）



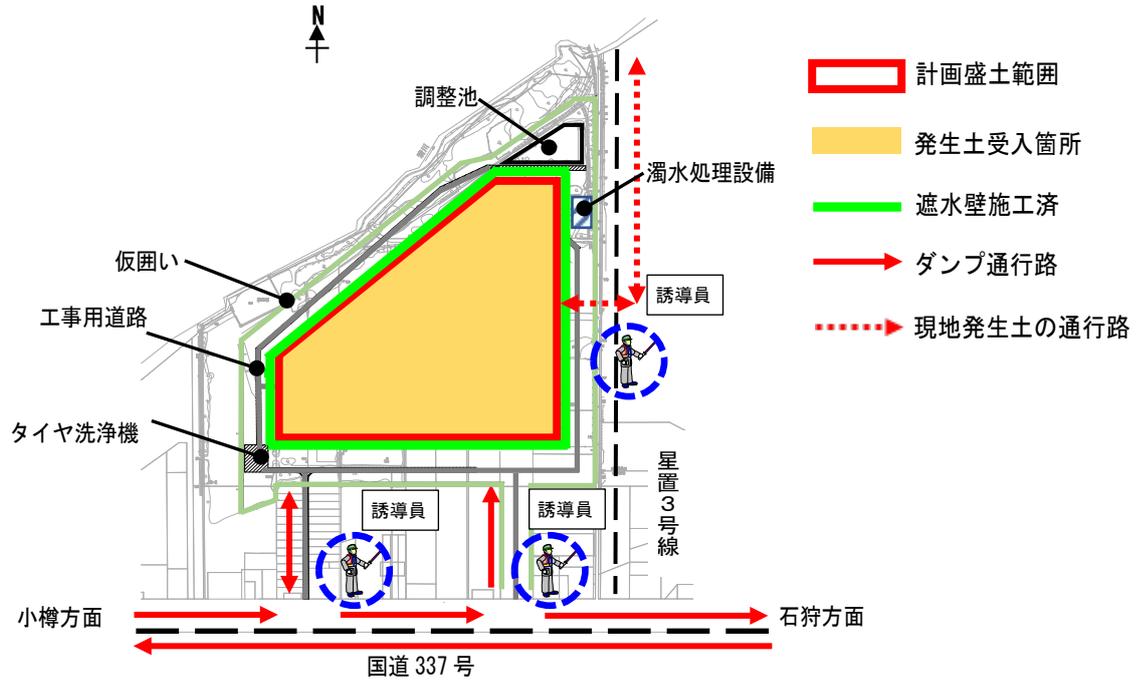
盛土状況（東側から西側を望む）（令和7年2月）

令和7年6月までの主な作業

	3月	4月	5月	6月
発生土受入れ	■	■	■	■
遮水シート（盛土法面）	■	■	■	■
現地発生土運搬（※）	■	■	■	■

※平日のみ週に1～2日の頻度で実施予定

（裏面に続きます）



○安全・環境対策

発生土（対策土）運搬に伴い、国道 337 号を通行するダンプトラックは1日で最大 400 台程度が見込まれます。工事用道路出入口には誘導員を配置し、引き続き安全に十分配慮します。

発生土（対策土）を運搬するダンプトラックは、荷台をシートで覆い、運搬時の飛散防止に努めるとともに、受入地から出る際には、タイヤ洗浄機でタイヤをきれいにし、公道を汚さない対策を徹底します。

また、雪解け後（4月上旬）に粉じん防止剤の散布を予定しております。



タイヤ洗浄状況



荷台のシート状況

(次ページに続きます)

○水質モニタリング

地下水については、令和6年10月から令和7年1月までの水質調査結果では、地下水①⑤で環境基準値を超過しました。地下水①⑤の採取地点は、地下水の流れから受入地より上流側に位置しているため、ヒ素の環境基準値超過は、ヒ素を含む土壌が広く分布している札幌市の地域特性に起因したものであると考えられます。

河川水については、令和6年11月から令和7年1月までの水質調査結果では、河川水R①で環境基準値を超過しました。発生土受入前の令和3年7月及び9月の水質調査においてもヒ素の環境基準値超過を確認しており、地下水①⑤と同様に地域特性に起因したものであると考えられます。

今後も水質モニタリングを継続し、環境への影響を注視してまいります。



ヒ素検出状況

(単位 mg/L)

採取地点名	R6. 10	R6. 11	R6. 12	R7. 01
地下水①	0.013	0.011	0.011	0.011
地下水②	0.005	0.006	0.004	0.004
地下水③	0.005	0.004	0.004	0.005
地下水④	0.004	0.003	0.003	0.003
地下水⑤	0.015	0.014	0.015	0.015
地下水⑥	0.007	0.006	0.006	0.006
河川水R①	0.006	0.012	0.011	0.012
河川水R②	0.010	0.008	0.007	0.005
河川水R③	0.002	0.001	0.001	0.001
		未滿	未滿	未滿

環境基準値 0.01mg/L 以下

○粉じんモニタリング

令和3年12月1日から受入地と星置地区センターの2地点で粉じんモニタリングを実施しております。粉じんの量については、受入開始前とほぼ同等の値となっております。引き続き、散水等の粉じん対策を実施し、粉じんの抑制に努めてまいります。

総粉じん濃度 (単位 mg/m3)

採取地点名	R3. 2	R3. 4	R3. 6	R3. 12 前半	R6. 10 前半	R6. 10 後半	R6. 11 前半	R6. 11 後半	R6. 12 前半	R6. 12 後半	R7. 1 前半	R7. 1 後半
受入地	0.016	0.032	0.025	0.026	0.028	0.031	0.027	0.025	0.018	0.014	0.015	0.017
星置地区	—	—	0.024	0.021	0.021	0.022	0.022	0.020	0.013	0.011	0.012	0.014

← 受入前 → | ← 受入後 →

※総粉じん濃度とは、測定期間中に粉じん測定器で吸引して集めた粉じん量を体積で割って算出したものです。測定期間中の体積 1m3 の中にある粉じん量です。

(裏面に続きます)



粉じん測定位置



粉じん測定器（星置地区）

今後も適切に工事を行うとともに、水質及び粉じんのモニタリングを継続することにより地域環境の保全に努めてまいります。

【工事に関するお問合せ先】

鹿島・岩田地崎・荒井・森川

北海道新幹線、札幌トンネル（星置）特定建設工事共同企業体

電話：011-590-1375（担当：石原（いしはら）、桜井（さくらい））

【事業に関するお問合せ先】

鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局 札幌建設事務所（札幌西土木）

電話：011-612-5000（担当：小林（こばやし）、柳瀬（やなせ））

手稲山口地域協議会 規約

(名 称)

第1条 この会は、手稲山口地域協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 協議会は、手稲山口地区の北海道新幹線建設工事発生土受入地（以下「発生土受入地」という。）への発生土の受入にあたり、工事の安全性の確認とともに、地域課題の共有を図り、住民同士の意見交換やそれに基づく活動を通じて地域の活性化に寄与することを目的とする。

(活 動)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) 発生土受入地における工事状況の確認
- (2) 発生土受入地の盛土工事完了後の跡地利用の検討
- (3) 手稲山口地区の地域振興のための課題の共有
- (4) 協議会の活動内容の情報発信
- (5) その他協議会目的の達成のために必要な活動

(組 織)

第4条 協議会は、次の者の中から、山口西町内会、山口東町内会が推薦する者をもって構成する。

- (1) 山口西町内会、山口東町内会の区域に居住する者
- (2) 山口西町内会、山口東町内会の区域内で農業、事業等を営む者
- (3) 山口西町内会、山口東町内会の区域内の学校、病院、事業所等に勤務する者

(情報発信)

第5条 協議会の活動結果の概要については、意見の発言者などが特定されない形式で、広く公表することとする。

(事務局)

第6条 事務局は、札幌市新幹線推進室及び鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局が担う。

(その他)

第7条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会で定める。

附 則

1 この規約は、令和3年12月5日から施行する。

附 則（令和5年規約）

1 この規約は、令和5年11月28日から施行する。